

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回8月の「てがたん」は8月13日(土)で「セミの観察」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打合わせは8月6日(土)です。よろしくお願いいたします。

7月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→水生植物園(フジ棚)→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2011年7月9日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 市民スタッフ 10名(伊東茂子、玄地昭八、小泉伸夫、須貝基康、染谷迪夫、竹本周平、古川克彌、松村定雄、水上香苗、保田行弘)
- 鳥博職員 2名(齊藤安行、村松和行)

観察記録 — 7月に観察した生き物リスト —

【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カウウ/タカ科：ツミ/キジ科：キジ/サギ科：ダイサギ、コサギ/ハト科：キジバト/キツキ科：コゲラ/ツバメ科：ツバメ/セキレイ科：ハクセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：オオヨシキリ、ウグイス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/外来種や家禽：コブハクチョウ

【両生類】ニホンアマガエル(幼体)、アズマヒキガエル、ウシガエル

【昆虫・クモ】

チョウの仲間：カラスアゲハ、アゲハ、キアゲハ、クロアゲハ、アオスジアゲハ、ナガサキアゲハ、ヤマトシジミ、ルリシジミ、ベニシジミ、モンシロチョウ、タケカレハ(幼虫)、セスジナミシャク/トンボの仲間：アキアカネ、ナツアカネ、ノシメトンボ、シオカラトンボ、ウチワヤンマ/甲虫の仲間：オオヒラタシデムシ、コフキゾウムシ、コメツキムシ(種不明)/ハチの仲間：キロスズメバチ、ニホンミツバチ、ジガバチ(種不明)、アナバチ(種不明)/カメムシの仲間：マルカメムシ/カマキリの仲間：チョウセンカマキリ/ナナフシの仲間：ナナフシモドキ/バッタの仲間：オンブバッタ(幼虫)、ショウリョウバッタ(幼虫)、コバネイナゴ(幼虫)、ウスイロササキリ、キンヒバリ/クモの仲間：ヒラタグモ、オオシロカネグモ、カニグモ(種不明)、アシナガグモ、イエユウレイグモ、カタハリウズグモ、サツマノミダマシ、ササグモ、オニグモ、ジグモ、クサグモ(種不明)、ナガコガネグモ、ジョロウグモ、ヤマトコマチグモ、アリグモ(種不明)、ハエトリグモ(種不明)

【花】

キク科：ハキダメギク、ノボロギク、ノゲシ、ヒメジオン/カタバミ科：アカカタバミ、オッタチカタバミ、カタバミ、イモカタバミ、ムラサキカタバミ(植栽)/ゴマノハグサ科：トキワハゼ/タデ科：ミズヒキ、ギシギシ、エゾノギシギシ/ツユクサ科：ツユクサ、トキワツユクサ/イネ科：セイバンモロコシ、エノコログサ/オモダカ科：オモダカ/アジサイ科：アジサイ/ブドウ科：ヤブガラシ/ヤマゴボウ科：ヨウシュヤマゴボウ/ドクダミ科：ドクダミ、ハンゲショウ/センリョウ科：センリョウ

7月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「クモと昆虫」でした。かなり暑い中での観察会になりましたが、涼しい神社の境内でのクモ探しや、斜面林で植物の病気について観察しました。今月のてがたんの鳥はツバメで、主に繁殖についてお話をしました。



今月の案内人 伊東茂子さん、竹本周平さん



① 博物館の壁面にいたオニグモ



② 秋になると大きな体と網が目立つクサグモ



③ 香取神社で見つけたイエユウレイグモ



④ ハゼの青い実に似ているサツノミダマシ



⑤ 満腹の時のカタハリウズグモの巣の様子



ヤマトコマチグモの巣

成体は大きさ9~11ミリくらいで、メスはススキやヨシのようなイネ科の植物の葉を巻いて、中に巣を造ります。

咬まれると痛いので注意!



7月てがたんの観察生物とルート



ヤマトコマチグモの巣の中

中を見ると、およそ100個の卵と一緒にメスがいました。このクモと同じ仲間のカバキコマチグモは、生まれた子グモが親を食べてしまいます。



⑩ 死んだふりをするコメツクムシの仲間。



⑨ アリ?を食べていたチョウセンカマキリ



⑧ ナナフシモドキについたタカラダニ



⑦ ハモグリバエの幼虫に食害されたカナムグラの葉



⑥ ドクダミと同じ仲間のハンゲショウ

色々な虫コブを観察しました

シロダモ



シロダモハコブシ

タマバエの幼虫によって作られる虫コブで、葉の裏をみると突起状になっているのが特徴。

シラカシ



カシハイボフシ

フシダニの仲間によって作られる虫コブで、葉の裏をみるとへこんでいて、毛で覆われているのが特徴。